

株式会社 坂ノ途中

所在地  
事業内容

京都市下京区西七条八幡町 21  
有機野菜・コーヒー豆の販売、  
新規就農者支援事業  
TEL 075-200-9773

## 環境負荷の小さい農業を広げる EC など

有機野菜などを主体としたサブスクリプション EC、法人向けの卸売、東南アジアのコーヒーを、品質を向上させて販売する「海ノ向こうコーヒー」などを展開。

### 沿革

#### ◆ 事業にかける思い

代表取締役の小野邦彦氏は、学生時代に世界中を旅した際、決して豊かでない土地であっても環境負荷の少ない循環生活が営まれ、自然と共に生きていこうとする人々の姿に感銘を受けた。この経験が、当社を設立する際の動機・きっかけとなっている。

#### ◆ 起業に至る経緯

小野氏自身の学生時代の体験から人と自然環境との関係性を問い直すことが自身の使命との観点に立ち、その実現方法として持続可能な農業の普及を可能とする有機農業に着目。2 年余りの外資系金融機関での修行期間を経て、2009 年 7 月に農業ベンチャーとして当社を設立するに至った。

当社は、有機野菜の定期宅配を主力とした EC を展開し、高い継続率を実現している。小売店舗「坂ノ途中 Soil」や飲食店と本屋の複合店舗「本と野菜 0y0y」による直販、百貨店やホテル、飲食店等への卸売も展開している。

#### 【海ノ向こうコーヒー ロゴマーク】



2016 年からは森林保護を目的として東南アジアでコーヒー栽培の技術指導を開始。スペシャルティコーヒーの輸入販売を行っている。

### 特徴・強み

#### ◆ ビジネスモデルとその特徴

##### 【有機野菜セット】



「100年後も続く、農業を」をコンセプトとして、環境負荷の小さい農業を実践する農業者を増やし、持続可能な循環型社会の実現をテーマとしている。

有機野菜に関しては、その大半を近畿エリアの新規就農者から仕入れているのが特徴である。各種農産物はインターネット通販や野菜類の小売店舗「Soil」、「本と野菜 OyOy」を通じて直販を行っているほか、百貨店、自然食品店、ホテル、飲食店などへの卸売も手掛けている。

### 【本と野菜 OyOy 店舗】



コーヒー豆の輸入販売に関しては、2016年からラオス北部において森林減少を食い止めようと、森の中でのコーヒー栽培を推進するプロジェクトを開始。その後、ミャンマーなど東南アジアでもコーヒー栽培の品質向上を実施し、「海ノ向こうコーヒー」として国内販売を開始している。

### ◆ 強み・アピールポイント

一般的には、新たに農業に挑戦している新規就農者は小規模な生産になりがちで、なかなか販路が確保できず、離農者もあとをたたない状況にある。

当社ではこのような状況を打開するべく、高品質な農産物であれば小規模な生産者からでも仕入れる姿勢を一貫して続けている。社内のシステム開発等により効率性を確保し、顧客からの共感も獲得している。

これらの取り組みは、ベンチャーキャピタルや政府系ファンドから高い注目を集めており、これまで累計8億4,700万円の資金調達に成功している。

## 将来展望

### ◆ 今後の事業展開

#### 5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル、拡充したい販路（ターゲット層）

人々の健康志向の高まりを背景にオーガニック食品の需要は拡大しており、現状では有機野菜の販売も好調に推移している。

新型コロナウイルスの影響に関しては、卸売部門が若干伸び悩んでいるものの、個人向けのインターネット販売は巣籠もり需要を取り込んで急伸している。

野菜の仕入に関しても、近年は新規就農者のみならず、周囲のベテラン農家も有機野菜の生産に興味を持ち始めており、持続可能な農業の輪はさらに拡大していく模様である。

## PR 事項

### ◆ 提供サービスにおける PR 事項

有機野菜等のオーガニック食品を支持する消費者は徐々に増えているうえ、持続可能な農業をテーマとする当社の姿勢は、「SDGs（国連サミットで採択された持続可能な開発目標）」をはじめとした国際社会共通の目標にも合致しており、今後もさらなる躍進が期待される場所である。

## 会社概要

設立：2009年7月

資本金：50,000千円

従業員数：50人

URL：<https://www.on-the-slope.com/>

主力サービス開始時期：2009年